

エレミヤ書と哀歌結晶の学び#4:神の言葉—食物として

の神聖な供給 9/28-10/4 **OL Summary: I. 「あなたの言葉が見いだされて、私はそれを食べました」(エレミヤ 15:16a):** **A.** 聖書にはまず神があり、それから神の語りかけ、すなわち、神の口から出る言葉があります。 **B.** 聖書はすべて、神の息吹かれたものです。このゆえに、聖書の言葉は、神の口から出る言葉です。 **C.** 聖書は神の御言として、神とキリストとその霊と命との具体化です。 **D.** 聖書は神の御言として、三つの要素から、すなわち、キリスト、キリストの死、キリストの復活から成っています。 **E.** 主イエスの語った言葉は霊であり、命です。主の語った言葉は、命の霊の具体化です。キリストは今、復活の中で命を与える霊であり、その霊は彼の言葉の中に具体化されています。/私たちは霊を活用することによって彼の言葉を受けるとき、その霊、すなわち、命を得ます。 **F.** 神の言葉は食物としての神聖な供給であって、私たちが養います。神の言葉に関する神聖な概念は、神の言葉が食物であり、それによって私たちは養われるということです。/神の言葉は、私たちの食物としての神ご自身です。/主イエスは、聖書の神の言葉をご自身のパンとして取り、その言葉によって生きました。/神は、私たちの食物としての言葉を通して、ご自身の豊富を私たちの内なる存在の中へと分与します。それは、私たちがご自身の要素をもって構成されるためです。 **G.** 神の言葉は、聖書の啓示全体によれば、私たちが食べるのに良く、私たちは神の言葉を食べる必要があります。神は、人がご自身を食べ、消化し、吸収することを願っています。食べることは、私たちの外側にある物に触れて、それを私たちの中へと受け入れることです。その結果として、それは最終的に、私たちの構成となります。/食物としての神の言葉は、私たちによって食べられ、消化され、吸収されて、実際に私たちとなります。この事は、言葉が私たちの構成となることです。/私たちは聖書を読むときはいつでも、命を得るために主に来て、キリストご自身である命のパンを食べなければなりません。/言葉としての主を食べることは、彼を私たちの命の供給として取り入れることです。彼は私たちが食べるための命のパンです。/主を食べる方法は、御言を祈ることです。神の御言を祈り読みすることは、私たちの霊を活用して、言葉を食べることです。/私たちは神の言葉を食べれば食べるほど、ますますキリストで構成されて、浸透されます。/私たちは主イエスを食べるとき、正常な霊的消化を持つ必要があります。/私たちに良い消化があるなら、食物のための通り道があり、食物は私たちの内側の存在のあらゆる部分に入り込みます。/消化不良であるとは、霊の食物としてのキリストが、私たちの内側の各部分に入り込む道がないことを意味します。/私たちは、全存在と内側のすべての部分を主に開き続ける必要があります。それは、霊の食物が私たちの内側で通り道を得るためです。もし私たちがこの事を行なうなら、正常な消化と吸収を持ち、霊の養いとしてのキリストを吸収し、キリストは私たちの構成要素となります。/私たちは、自分が食べるものとなるので、もし私たちが神を私たちの食物として食べるなら、神と一になり、さらには神格においてではなく、命と性質において神となります。 **II. 「あなたの言葉は私にとって、心の楽しみ、また喜びとなりました」(エレミヤ 15:16b):** **A.** エレミヤは他のす

べての預言者たちよりも苦しみました。神の言葉を見いだして、それを食べたときはいつでも、彼の心の中で楽しみ、また喜びを持ちました。 **B.** エレミヤ 15:16の「なりました」という言葉が示しているのは、楽しみと喜びは、神の言葉が食べられ、消化され、吸収されて、私たちの内なる存在の中へと構成し込まれた結果、主の喜びが私たちの喜びとなったということです。神の言葉が私たちの中へと取り入れられて、私たちの内側の各部分の中へと吸収された後、これらの言葉は、内側で喜びとなり、また外側で楽しみとなります。 **C.** 神は喜びの神であり、私たちにご自身を享受してもらいたいです。聖書において神と人との関係が最初に述べられた時、神はご自身を食物として人に提示しました。この事が示しているのは、神の願いとは、ご自身を私たちに与えて、私たちの享受となることであるということです。 **D.** ローマ 14:17は「聖霊の中の喜び」について語っています。私たちはその霊の中にいるとき、とても喜びに満ちあふれているので、主に歌い、また大声で主を賛美します。/私たちは、「言葉では言い尽くせない、栄光に満ちた喜びをもって歓喜」することができます。/栄光に満ちた喜びは、栄光としての主の中に浸された喜びです。こういうわけで、この喜びは神の表現に満ちています。 **III. 「キリストの言をあなたがたの内に豊かに住ませ」(コロサイ 3:16):** **A.** キリストの言は、キリストの語った言葉です。神の新約エコノミーにおいて、神は御子の中で語ります。御子は、福音書でご自身によって語るだけでなく、使徒行伝、書簡、啓示録で、ご自身の肢体である使徒たちと預言者たちを通して語ります。これらすべての語りかけは、キリストの言と考えることができます。 **B.** キリストの言は、実はキリストのパーソンです。パウロは、キリストの言を人格化していると言ってもよいでしょう。パウロは、この言葉を、生けるパーソンであるかのように、私たちの内に住ませるようこと私たちに告げています。/まず、私たちはキリストを私たちの命として持ちます。次に、私たちは人格化された彼の生ける言葉を、キリストのパーソンとして私たちの内に住ませます。 **C.** 私たちは、キリストの言を私たちの内に豊かに住ませ、私たちの存在の中で第一位を得ていただく必要があります。:「[住ま]わせ(let)」という言葉は重要です。キリストの言はすでに存在しているのですが、私たちは、キリストの言を内側で活動させる必要があります。/「住む」と訳されたギリシャ語は、文字どおりには、「家にいること」、「内住すること」、「居住すること」を意味します。この事が示しているのは、私たちがキリストの言に私たちの内に住んでいただき、居住していただき、私たちの中にホームを造っていただくべきであるということです。/主の言葉は、私たちの内側に十分な余地を持たなければなりません。それは、主の言が活動して、キリストの豊富を私たちの中へと供給するためです。 **D.** 私たちは、キリストの言を私たちの内に住ませる必要があります。それは、私たちが、私たちの内側で活動している、またキリストの豊富を私たちの存在の中へと供給している神の言葉の機能を経験するためです。神の言葉は、私たちがを照らし、養い、私たちが潤して私たちの渴きをいやします。/神の言葉は、私たちがを強め、洗い、建造します。/神の言葉は、私たちがを聖別することによって、私たちがを完全な者にし、完成し、成就します。

CPI: 毎日聖書を読む生活習慣を立て上げて、キリストの死の殺す要素とキリストの復活の養う要素にあずかる

エレミヤ15:16 あなたの言葉が見いだされて、私はそれを食べました。あなたの言葉は私にとって、心の楽しみ、また喜びとなりました。エホバ、万軍の神よ、まことに、私は、あなたの御名によって呼ばれているのです。

OL1: 聖書は神の御言として、三つの要素から、すなわち、キリスト、キリストの死、キリストの復活から成っています。マタイ4:4 しかし、イエスは答えて言われた、『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる』と書かれている。ヨハネ6:57-58 生ける父が私を遣わされ、私が父のゆえに生きてるように、私を食べる者も、私のゆえに生きる。これは天から下って来たパンであって、…このパンを食べる者は永遠に生きる。63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私があなたがたに語った言葉は霊であり、命である。

ヨハネによる福音書の上記の数節はキリストの死や復活を述べていませんが、もしこれらの節を祈り読みすることによって健康な言葉を食べるなら、その結果、私たちの内側にある細菌は殺され、私たちの内側の弱さは飲み尽くされるでしょう。これは御言葉の中にあるキリストの死の殺す要素によって生み出される殺しです。私たちは祈り読みを続けるとき、同じ言葉によって、キリストの復活の養う要素を含む命で供給されるでしょう。これがクリスチャン生活です。すなわち、御言を通して私たちの神から殺しと養いを受ける生活です。

正しく聖書を読むなら、殺す要素が私たちの中へと常に伝達されます。もし聖書を読んでも何の殺しも受けなければ、私たちが読むことは無駄です。…私たちが物質的に食べるなら、私たちの体は私たちの中の細菌を殺すことができるようになります。もし毎日正しく食べないなら、私たちは多くの細菌によってすぐに病気になるでしょう。しっかりと規則正しく食べる限り、私たちは抗生物質を飲む必要はありません。食べることを通して、私たちは自然に殺す要素を持つでしょう。1 ペテロ2:2 生まれたばかりの赤子のように、悪巧みのない言葉の乳を切に慕い求めなさい。それによって、あなたがたが成長して救いへと至るためです。へブル5:13 すべて乳にあずかっている者は、義の言に経験がありません。なぜなら、彼は幼子であるからです。14 しかし、成人した者たちのためには、固い食物があります。彼らの機能は、習慣的に訓練されて、善悪を識別することができるのです。

これらの箇所はすべて、神の御言に関する私たちの観念が新しくされる必要があることを確証します。御言に関する天然の観念は、それがあつた種の教え、あるいは教理であるということです。しかし、神聖な概念は、神の御言が私たちの霊を養う食物であるというものです。

私たちが食べる食物は最終的に、私たちの存在とミングリングされます。もし私たちが取り入れた食物が私たちとミングリングしないなら、私たちは消化不良であるに違いありません。私たちが食べて消化する食物は、私たちの存在の中へと吸収されます。食物は私たちの組織、骨、肉、皮となります。これは、食物が私たちによって食べられ、消化され、吸収されて、実際に私たちとなることを意味します。

適用: 新人及び青少年・大学生編

祈りは呼吸のようであり、聖書を読むことは食事のようです。両方ともすべての信者が日々実行しなければならないことです。特に、新人と青少年の皆さんは毎日聖書を読む新しい生活習慣を立て上げてください。

聖書は神の御言として、三つの要素から、すなわち、キリスト、キリストの死、キリストの復活から成っています。聖書を読むことで、これらの要素にあずかることができます。墮落した人の肉の中には、淫行、汚れ、好色、偶像礼拝、まじない、敵意、争い、嫉妬、怒りの爆発、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、宴楽等の病原菌の働きがあります(ガラテヤ5:19~21)。これらを殺す力は、キリストの死の中にあります。そして聖書を読み、祈り読みすると御言葉の殺す要素にあずかり、肉の働きの殺すことができます。ハレルヤ!

例えば、召会生活の中で、ある人は兄弟姉妹に指摘された自分の失敗に怒りを爆発させます。怒りの背後にはプライドがあります。プライドを傷つけられると怒りの病原菌が突発的に増殖してしまい、怒りで満たされます。怒りに対する殺菌力を持つ天的抗生物質はキリストの死です。このような時、直ぐに主の御名を何度も呼び求め、そして霊を活用して力強く御言葉を祈り、宣言してください。そうすれば、御言葉の中の霊の中のキリストの死の効果を経験することができます。あなたの肉の中の怒りの爆発は、少しずつ消えていきます。

御言葉の中のキリストの復活の要素は、あなたを養うことができます。例えば、あなたは勉強をしようと思えますが、なかなかやる気が出ません。それはあなたの意志が弱いからです。墮落した人の意志は頑固で固いのですが、弱いです。あなたの意志は、死と復活により引き上げられ、強められ、豊かにされる必要があります。そして、神に対しては柔らかく従順で、御言葉を信じ、実行することでは強くある必要があります。

学生の本分は勉強です。しかし、この事はすべての召会の子供たちが国公立の大学や有名私立大学に行かなければならないという意味ではありません。聖書は、それぞれの人が、各自が持っている度量に応じて機能するように言っています。神のエコノミーは、霊の中のその霊であるキリストが、魂の各部分に広がり、思いの理解力を引き上げ、感情の主を愛し、敵を憎む機能を強化し、意志の決定する力を強化します。あなたは、自分の度量に応じて、勉強において御言葉の供給により、徐々に主の中でGoing upすることを経験してください。決して、「自分は成績が悪いので役に立たない人である」と消極的に考えてはいけません。キリストのからだの肢体には不要な肢体は一つもありません。あなたは人にとっても神にとっても有用で重要な人です。重要なことは、召会生活の中で徐々に成長することです。祈り:「お主イエスよ、神の言葉は神聖な食物であつて私たちを養います。毎朝霊的パートナーと御言葉にあずかり、キリストの殺す要素と養う要素にあずかります。生活の中で、肉の激怒、嫉妬、高ぶりが出て来たときには、直ぐに主の御名を呼び、御言葉を祈り読みします。魂の中の病原菌を殺して下さい。また、魂の思い、感情、意志の機能はキリストの復活の中で引き上げられる必要があります。私を主の中で成長する若者にして下さい」。

CP2:御言葉を正しく消化し吸収すると、キリストが私たちの構成要素となり、心の喜びまた楽しみとなる

OL1:消化不良であるとは、霊の食物としてのキリストが、私たちの内側の各部分に入り込む道がないことを意味します。私たちは、全存在と内側のすべての部分を主に開き続ける必要があります。それは、霊の食物が私たちの内側で通り道を得るためです。もし私たちがこの事を行なうなら、正常な消化と吸収を持ち、霊の養いとしてのキリストを吸収し、キリストは私たちの構成要素となります。**OL2:**あなたの言葉は私にとって、心の楽しみ、また喜びとなりました(エレミヤ 15:16b)。**OL3:**エレミヤは他のすべての預言者たちよりも苦しみました。神の言葉を見いだして、それを食べたときはいつでも、彼の心の中で楽しみ、また喜びを持ちました。**OL4:**神の言葉が私たちの中へと取り入れられて、私たちの内側の各部分の中へと吸収された後、これらの言葉は、内側で喜びとなり、また外側で楽しみとなります。**OL5:**ローマ 14:17は「聖霊の中の喜び」について語っています。私たちはその霊の中にいるとき、とても喜びに満ちあふれているので、主に歌い、また大声で主を賛美します。

祈り読みは素晴らしいのですが、私たちはまたこのように祈らなければなりません、「主よ、私の内側の道を開いてください。おお、主よ、私の内側で自由な道を得てください」。祈り読みは、私たちが単なる知識を得るのを助けるものではありません。むしろ、祈り読みは主の多くのものを私たちの中へともたらすのです。ですから、私たちは内側で主のものに自由な道を与える必要があります。これは、私たちに最も良い霊的消化を与え、私たちが祈り読みしたものを吸収させます。決して、主に「ノー」と言わないでください。常に「アーメン」と言うことを学んでください。

私たちは自分が祈り読みしたものを理解してもしなくても、それは常に主の何かを私たちの中へともたらします。これらのものは私たちの中へと入るとき、自由な道を必要とします。ですから、私たちは常に「アーメン」と言わなければなりません。主、御言、その霊は一です。主は御言であり、御言はその霊であり、その霊は主です。私たちは御言を私たちの中へと取り入れるとき、その霊を持ち、また主を持ちます。祈り読みの後、私たちは釣りに行こうとするかもしれませんが、私たちの内側の何かが行かないようにと示します。…キリスト教では、多くの人は、かすかな静かな声について話すのが好きですが、それは旧約のものです。私たちの内側にあるものは、例えば、「してはならない」とか「しなさい」といった声や明らかな言葉ではありません。私たちの内側には、ただ行くべきではないことを示す感覚があるだけです。その時、私たちはどうすべきでしょうか？ 私たちは、「アーメン、主よ、アーメン」と言わなければなりません。

エレミヤは神の言葉を見いだしたとき、それを聞いただけでなく、それを食物として食べました。彼は神の言葉を食べた後、直ちに内側が供給され、楽しみと喜びを感じました。**I ペテロ 1:8** あなたがたは、その方を見たこともないのに愛しており、その方を今、見ていないのになお信じており、言葉では言い尽くせない、栄光に満ちた喜びをもって歡喜しています。

適用:奉仕者編

神戸にある召会は朝毎の復興のための「朝毎の食物」を追求して、全世界の諸召会と同じ霊的食物を食べています。それに加えて、回復訳聖書通読(2年間で読み終えるスケジュール)と二一兄弟とリー兄弟著作の霊的書物(2メッセージ/週)を読んでいます。前面の同労者たちは、私たちが力を尽くして回復の書物を読むように勧めて下さっています。

聖書や務めの書物を読むと、自分の観念と違うことに気付いたり、照らされたりすることがあります。その時、そのまま放っておいてはいけません。そうすれば、それが詰まりとなり、神の言葉を消化、吸収することができなくなります。

兄弟の証し:「私は大学1年の救われた当初、『神は世の人(罪人)を愛された』(ヨハネ 3:16)を読む時、善人は救われるべきであるが、悪人は救われるべきではないのではないかと思っていました。そして、人がバプテスマされる時、時々『本当に救われているのかな?』という疑問がありました。この古い天然の観念のゆえに御言葉を受け入れることができず、消化不良を起こしていたので、最初の1年間は福音を全く伝えることができませんでした。しかしその後、聖霊の照らしの下で、悔い改めて自分の罪、古い観念を告白して、初めて神聖な観念である、『神は世の人(罪人)を愛された』を自分の心の中に受け入れることができるようになりました。その後、福音を積極的に伝えるようになり、多くの人々が救われました。

霊的書物を読んで享受した証し:『福音を普及させることと召会の行政(#3:福音を宣べ伝え、真理を追求する)』:**ピリピ 1:5** それは、最初の日から今日まで、あなたがたが福音を前進させる交わりにあるからです。「私たちは流れに逆らって漕(こ)がなければならない船のようです。もし私たちが前進しないなら後退しているのです。…全世界は私たちを引きずり戻しています。私たちの道は60年間にわたって奮闘の道でした。…私は祈る時はほとんどいつも言います、『おお主よ、私たちが戦場にいることを覚えてください』(p44-45)。「キリストを経験するために、基礎として福音を積極的に前進させる必要があります」(p51)。「どれほど多くの人々が私たちに反対してきたとしても、私はこれまでの30年間、決して口調を変えませんでした。私は初めから終わりまで同じ真理を語ります。神のエコノミーによれば、三一の神はご自身を彼の選ばれ、贖われた人々の中へと分与して、彼らをキリストのからだとし、彼を表現させます。私が望むのは、私たち皆…がこの中心路線を把握することです」(p63)。

この本を読んで、福音を伝えることに関して、照らしや励ましを受けることができました。

祈り:「主イエスよ、神の言葉を食べる上で、消化不良になることから救ってください。私は自分の古い観念を告白し、対処します。そして、全存在を完全に主に開いて、主に私の内側で自由な道を得ていただきます。正常に神の言葉を消化し吸収します。キリストを内側の各部分に受け入れると、内側がキリストで構成され、御言葉は私にとって心の喜び、また楽しみとなります。アーメン!」

CP3:キリストを命とし、パースンとするために、御言葉を私たちの内に豊かに住ませる

OL1:「キリストの言をあなたがたの内に豊かに住ませ」(コロサイ 3:16)。**OL2:**まず、私たちはキリストを私たちの命として持ちます。次に、私たちは人格化された彼の生ける言葉を、キリストのパースンとして私たちの内に住ませます。**OL3:**主の言葉は、私たちの内側に十分な余地を持たなければなりません。それは、主の言が活動して、キリストの豊富を私たちの中へと供給するためです。**エペソ 3:16** 力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してください。17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。5:18 霊の中で満たされ、19 詩と詩歌と霊の歌とで語り合い、心から主に向かって歌い、朗詠しなさい。6:17 その霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。

キリストを受け、経験し、享受する方法は、キリストによって語られた言葉を、霊また命として食べることです。…キリストは言葉を語られ、言葉はその霊であり、その霊は命です。ですから、言葉、その霊、命は、三一です。言葉の語り手は、手順を経た三一の神であり、彼の語りかけは、手順を経た三一の神を言葉の形で私たちの中へと伝達します。私たちの中へと入った後、この言葉はその霊となります。そしてその霊は命です。それから、私たちが人にこの霊を語り出す時、その霊は彼らに言葉となります。人が言葉を受け入れる時、それは再びその霊となります。そして、彼らが人にその霊を語る時、彼は再び言葉となります。ですから、私たちが言葉を受け入れる時、言葉はその霊となり、その霊は私たちの命となります。これは、まず言葉の形で、次にその霊の形で、最終的には命の形で、三一の神が命の供給として私たちの中へと伝達されることです。このようにして、三一の神は私たちの享受となります。

コロサイ 3:16 で、私たちはキリストを私たちの命として持ちます。次に、私たちは人格化された彼の生ける言葉を、キリストのパースンとして私たちの内に住ませます。キリストの言はキリストによって語られた言葉です。神の新約エコノミーにおいて、神は御子の中で語られます。エペソ 5:18~20 では、霊の命の満たしはその霊と関係があります。これは、御言とその霊が同一化されていることを示しています。正常なクリスチャン生活は、御言をもって満たされており、その霊が私たちの内側から、称賛する調べ、賛美の調べの中で沸き上がってくるものであるべきです。

私たちは、キリストの裁定する平安が私たちを一の中に保って、主が私たちに語ってくださることを必要とします。そして私たちは、神の言葉に第一位を与える必要があります。こうするなら、私たちは神の言葉の機能を経験するでしょう。それは、照らし、養い、私たちの渴きをいやし、強め、洗い、建造し、完成し、成就します。私たちは神の言葉から何という益を受けることでしょ

適用:ビジネスパースン・大学院生編

多くの人は、神のエコノミーの中の召会生活とビジネスライフは別であると考えています。しかし、実際には召会生活の中で学んだことは、ビジネスライフに応用することができ、また、ビジネスライフで学んだことも召会生活に応用することができます。もちろん、ビジネスライフでは、召会生活のように、自由に祈ったり聖書を読んだりすることでは大きな制限があります。しかし、主に信頼し、主をパースンとするという点ではどちらも同じです。

兄弟の証し:「ビジネスでは、大きな事だけでなく小さなことでも毎日決定する必要があります。キリストを私のパースンとすることは、おもに私の決定することで現わされますので、会議や個人的な打ち合わせで、必ずその場でNext StepsやAction Planを、キリストをパースンとして決定するように訓練しました。

私が転職したばかりの会社であったことですが、これから活躍を期待していた会社の生え抜きの社員との個人的な面談で、彼が「米国に恋人がいるので、米国の会社への異動を許可して頂けませんか？この件は何年間も会社と話し合ってきましたが、ペンディングにされていて進展がありません。私も彼女も困り果てています。どうか助けてください」と言ってきました。私はこれから期待していた人であったので、聞いた直後は暗くなっていました。しかし約10分間会話した後、私は思いを主に向け変え、主の御名を呼び、短く祈って、恋人とは結婚する予定なのかを確認してから、この移動を了承しました。そして、米国本社と社長に直ぐにメールを送り、この件を了承したことを伝えました。その人は、私の迅速な決定に驚き、また非常に喜んでくれました。アメリカに行った後も、彼は日本のために貢献してくれました。彼だけでなく、アメリカ本社は私の迅速な決定を驚き、称賛しました。更に、彼がいないことで別のもっと優秀な若者が出て来る道が開かれました。全ての環境は恵みの化身ですので、主に感謝、賛美して受け入れれば、主に導かれ、祝福されます。

ローマ8:27 心を探る方は、その霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、彼は神にしたがって、聖徒たちのためにとりなしてくださるからです。28 また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべて(すべての人、すべての事、すべての物)が共に働いて益となることを、私たちは知っています。

重要なことは、**①**キリストをパースンとすることをビジネスの決定事項で訓練すること、**②**毎日聖書を読みキリストの言葉を私の内に豊かに住ませることであると証しすることができます。

祈り:「主イエスよ、召会生活とビジネスライフの両方でキリストをパースンとすることを学びます。キリストを主観的に経験し、享受する方法は、キリストによって語られた言葉を霊また命として食べることです。また私の内側に御言葉を豊かに住ませるために、内側を空にして主が入ってくるように十分な余地を与えます。主の言葉が活動して、私を照らし、養い、いやし、強め、建造し、完成し、成就してください。アーメン!」